

ニシゴリラの赤ちゃんの名前が決まりました

千葉市動物公園では、恩賜上野動物園と共同で、ゴリラの共同繁殖計画に取り組んでおりますが、誕生したニシゴリラの赤ちゃん（オス）の名前が、来園者の皆様からの投票により決定しましたので、お知らせします。たくさんの投票をいただき感謝申し上げます。

1 決定した名前 リキ

平成29年10月9日生まれ オス

母親：モモコ

父親：ハオコ

リキ	1,325 票
タイジュ	684 票
リーフ	622 票
ヘリ	602 票
ハミング	557 票
カムヅミ	113 票

※有効得票数 3,903 票

千葉市動物公園 209 票

上野動物園 3,694 票



【リキです。よろしくね】

※恩賜上野動物園提供

2 決定に至る経緯

平成29年11月17日（金）から11月26日（日）まで、当園と上野動物園で用意した名前の候補6種類から、赤ちゃんにふさわしい名前を来園された方に投票していただきました。募集期間終了後、両園で投票用紙の集計を実施したところ、最も得票数の多かった名前は「リキ」となりました。

3 最近のリキの様子について

誕生からしばらくの間は母親であるモモコに支えられて抱かれていましたが、最近では自分の力でモモコの腕や腰などにしがみついています。また、徐々に目が見えるようになってきており、モモコの食べる枝葉に触れようとするなど周囲のものに興味を示す姿が見られます。

4 記念品

「リキ」にご応募いただいた方の中から、抽選で5名の方に両園から記念品をプレゼントいたします。(発表は発送をもって代えさせていただきます)

5 当園での飼育状況

飼育総数 2頭 (オス1頭、メス1頭)

- ・オス 「モンタ」 33歳 1990年3月29日、モモコと同時に来園
- ・メス 「ローラ」 40歳 2008年12月8日来園

6 当園所有のゴリラの飼育園

- ・オス 「モンタ」 千葉県動物公園
- 「モモタロウ」 京都市動物園へ繁殖貸与中 (モモコの第1子)
- 「ゲンタロウ」 京都市動物園で誕生
- ・メス 「モモコ」 東京都恩賜上野動物園へ繁殖貸与中
- 「モモカ」 東京都恩賜上野動物園で誕生 (モモコの第3子)

《参 考》

1 ニシゴリラについて

- (1) 種 目 霊長目 ヒト科
- (2) 学 名 *Gorilla gorilla gorilla*
- (3) 大きさ 頭胴長 150~170cm 体重 90~180kg
- (4) 分 布 コンゴ、ガボン、カメルーン等の熱帯雨林に生息
- (5) 生態等 体色は黒が基本であるが、褐色や灰色がかっていることが多く、オスは頭の毛が赤茶色の個体が多い。成獣のオスは背中から太ももにかけて体毛が白くなる「シルバーバック」になる。
シルバーバック1頭にメス数頭と子どもたちからなる10頭前後の群れで生活している。草木のほか、果物、昆虫も食べる。西アフリカで20万頭以下が生息していると推測されているが、環境破壊、病気、狩猟で減少の危機さらされている。

- (6) 繁殖の過程 ゴリラのメスはおおよそ7歳で性成熟し、野生での初産は10歳前後が普通。妊娠期間は約8.5か月と報告されている。出産間隔は4年で、寿命は40~50年であり、生涯に2~6頭出産する。新生児の体重は、約2kg、9週齢でハイハイをし、30~40週齢で歩き始め、2.5~3歳で離乳する。

- (7) 国内飼育状況等 (平成29年11月30日現在)

飼育園数 7園 オス10頭 メス11頭 計21頭

※今回誕生した赤ちゃんを含みます。

※出典：2016年ニシゴリラ国内血統登録台帳【(公社)日本動物園水族館協会】から改訂

2 ブリーディングローンについて

繁殖を目的とした動物の貸借契約のことで、動物園間で動物を移動させることにより新たなペア形成を促し、繁殖に寄与する目的で行う。

当園所有の「モモコ」はこのブリーディングローンにより、上野動物園へ貸し出し、上野動物園の「ハオコ(オス)」との間に平成29年10月9日に「リキ(モモコの第4子)」が生まれた。